

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年8月16日
事業者名:	株式会社セスタ

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	西濃地域の廃野菜などを集め、「にしみのおやさいクレヨン」としてアップサイクルし、製品化している	②つくる責任 つかう責任	R4年1月に販売開始	指標	「にしみのおやさいクレヨン」4,000箱の完売（※寄付・寄贈分も含む）
				目標	R7年1月までに4,000箱を完売する完売の目途が立ち次第、次の新製品開発に挑戦する
社会	作ったクレヨンは販売だけでなく、児童養護施設などへの寄付や、商業施設などのワークショップに参加し、実際に子供達に手にとってもらい、お絵描き体験をしてもらうなどの活動を行っています。	③すべての人に健康と福祉を	R4年に4回ショッピングモールでのワークショップを開催寄贈に関しては7施設 合計100箱寄贈済み	指標	ワークショップの開催回数
				目標	毎年3回はワークショップを行う
経済	クレヨンの製造以外の部分、廃野菜の選別、箱折り、梱包、発送業務補助などは弊社就労支援施設の障がいを持つ利用者さんが行っています	⑤ジェンダー平等を実現しよう	利用者ほぼ全員が生産活動に携わっている	指標	継続的な製品の生産を確保する程度の案件の数
				目標	自社のクレヨンだけでなく全国のご当地クレヨンの生産を支援し、継続かつ安定的な生産量を確保する
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 福祉施設でもできるSDGsとは何かを皆で考えた上で「にしみのおやさいクレヨン」の取り組みを決定する目的を共有し、販売戦略なども定期的に話し合いを行っている。 ワークショップのイベントなどを通じて、「障がいがあってもできる」を発信している			
	<input checked="" type="checkbox"/>				